

蒲生干潟周辺の塩分濃度⑫

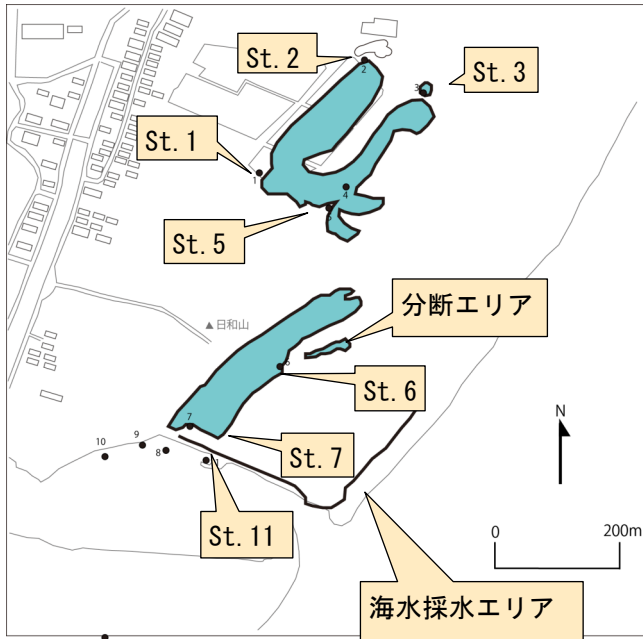


Fig.1 2018./05/10 採水点

Table.1 2018. 3月～5月 塩分濃度(%)

採水点	3月	4月	5月(今回)
St.1	2.3	2.4	2.3
St.2	2.3	2.4	2.3
St.3	1.9	2.5	1.8
St.4	2.3	2.7	—
St.5	2.2	—	2.2
St.6	1.9	3.2	2.6
St.7	2.0	2.5	2.5
St.8	—	—	—
St.9	—	—	—
St.10	—	—	—
St.11	—	—	別表

※ 汽水基準値(0.05～3.0%)

Table.2 新たに加えた採水点での結果

分断エリア		St.11の詳細	
採水点	平均	採水点	平均
St.6北東側分断エリア	2.4	北側通水部	潟湖側 1.1
			川側 1.4
海水採水エリア		南側通水部	潟湖側 1.8
採水点	平均		川側 0.4
海岸線(河口付近)	3.0		

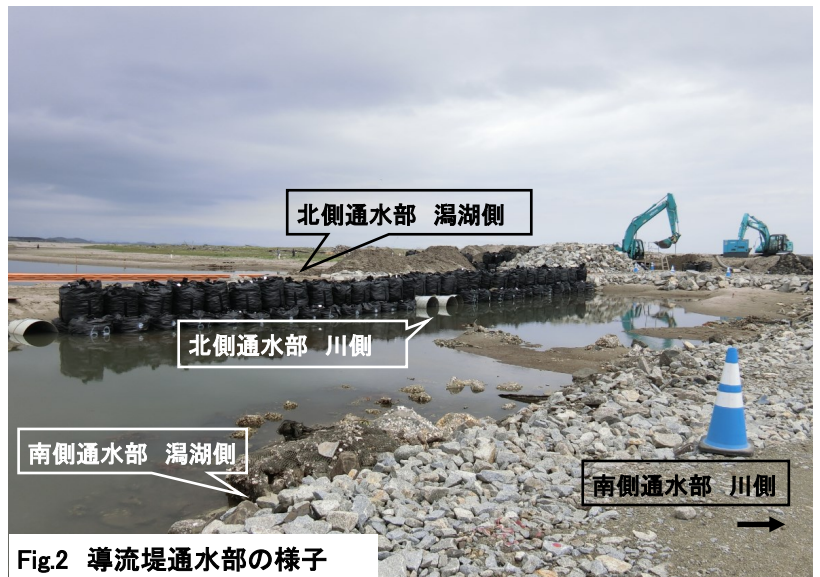


Fig.2 導流堤通水部の様子

調査日時 2018年5月10日(木) 10:30～12:30

天気:くもり, 満潮時刻10:59(潮位81cm)

今回の調査では、これまでの採水点に加え、Fig.1に示した分断エリアとSt.11付近の導流堤通水部の詳細、河口付近の海水エリアを新たに加え、その結果をTable.1とTable.2に記載した。Fig.2は、導流堤通水部の様子を南側から撮った写真である。今回の調査では、この導流堤通水部が2段階になっていることを確認し、塩分濃度も一定でないことを確認した。通水状況については、これまで同様に潟湖北部のSt.1で養魚場跡地からの水が流入していることを確認した。また、導流堤通水部分の状況は、Fig.2のように工事が進んでいて、調査で訪れるごとに変化していた。今後も通水状況及びこのエリアの塩分濃度について注目していきたい。

(小山康宏)